

石綿調査表

調 査 年 月 日			調 査 者	
建 物 等 の 所 在 地	津山市勝部字鴨ヶ峪144番、157番4			
建 物 等 の 所 有 者	住所(所在地)	津山市山北520番地		
	氏名(名称)	一般財団法人 津山市都市整備公社		
建 物 等 の 番 号	6-A	建物の構造・用途・面積	鉄骨造二階建・合宿所・882.19㎡	
(1) 建物等の建築時期の調査	建物建築等時期 昭和54年1月		☐ 建物登記記録 ☐ 建築確認書 ☐ 建築請負契約書 ☐ 設計図書 ☒ その他 ()	
(2) 調査方法び仕 石綿含有建材 の名称	○調査方法 ・ 目視による石綿使用の有無の確認 ☐なし ☐あり ☒使用の可能性あり、または不明 ・ 設計図書等による石綿使用の有無の確認 ☐なし ☐あり ☐使用の可能性あり、または不明 ・ 施工業者等への石綿使用の有無の確認 ☐なし ☐あり ☐使用の可能性あり、または不明 ・ 建物等所有者への石綿使用の有無の確認 ☐なし ☐あり ☐使用の可能性あり、または不明 ・ その他の方法 (分析調査) での石綿使用の有無の確認 ☐なし ☐あり ☒使用の可能性あり、または不明 ○使用を確認した石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の名称 () ○調査した石綿含有成形板（仕上げ材等）の名称 () ○分析調査の有無 ☒分析調査する ☐分析調査しない (判断理由：石綿含有成形板(レベル3)は上記調査方法による調査を実施したため)			
(3) 分析調査	分析調査結果報告書による			
	☒ 使用されている ☐ 使用されていない			
(4) 最終判定 (対象石綿の使用有無)	☒ 使用されている（みなし含有の場合を含む。） ☐ 使用されていない			
	判定理由： 石綿分析結果より「外壁ボード・吹付材」に石綿含有が検出されたため			
備 考				

別紙

石 綿 含 有 建 築 材 料 表

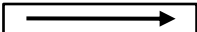
建物等の番号： 6-A

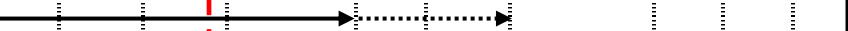
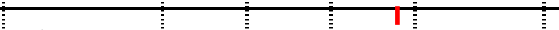
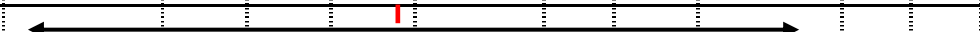
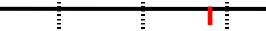
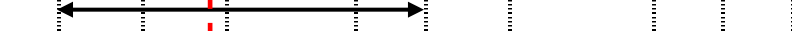
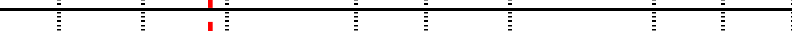
所 有 者： 一般財団法人 津山市都市整備公社

仕上材名称	形状寸法	石綿使用の判定	備考
屋根工事			
スレート葺		石綿の使用の可能性ありまたは不明	△
外装工事			
外壁ボード・吹付		石綿の使用あり	×
内装工事			
石綿分析結果より		石綿の使用なし	○

判定・・・○ 石綿の使用なし
△ 石綿の使用の可能性ありまたは不明
× 石綿の使用あり

種類別石綿等使用期間表

注)  実際に使用されていた期間  使用されていたと思われる期間

解体作業区分	種類	工法等	使用された概ねの期間											
			1955 S30	1965 S40	1970 S45	1975 S50	1980 S55	1988 S63	1990 H2	1995 H7	2004 H16	2005 H17	2006 H18	
法的							※1		※2	※3	※4	※5	※6	
メーカー自主規制														
【石綿含有吹付け材】 （発じん性が著しく高い作業）	吹付け石綿													
	石綿含有吹付けロックウール	石綿30%以下												
		乾式・半乾式石綿5%以下												
	湿式石綿含有吹付け材													
	石綿含有吹付けバーミキュライト													
	石綿吹付けパーライト													
	建築用上塗り材 ※7													
【石綿含有保温材等】 （発じん性が高い作業）	石綿含有けいそう土保温材													
	石綿含有けい酸カルシウム保温材		※ i											
	石綿含有バーミキュライト保温材		※ i											
	石綿含有パーライト保温材													
	石綿保温材													
	石綿含有けい酸カルシウム材第2種													
	石綿含有耐火被覆板													
	屋根用折板石綿断熱材													
	煙突用石綿断熱材													
解体作業区分	種類	工法等	使用された概ねの期間											
			1955 S30	1965 S40	1970 S45	1975 S50	1980 S55	1988 S63	1990 H2	1995 H7	2004 H16	2005 H17	2006 H18	
法的							※1		※2	※3	※4	※5	※6	
メーカー自主規制														
【石綿含有形成材】 （発じん性が比較的低い作業）	石綿含有スレートボード		※ i											
	石綿含有スラグせっこう板													
	石綿含有パルプセメント板													
	石綿含有押出成形セメント板													
	石綿含有けい酸カルシウム板第1種													
	石綿含有ロックウール吸音天井板													
	石綿含有せっこうボード													
	石綿含有パーライト板		※ ii											
	石綿含有その他ボード													
	石綿含有その他パネル													
	石綿含有壁紙													
	石綿含有ビニル床タイル		※ iii											
	石綿含有ビニル床シート		※ ii											
	石綿含有ソフト巾木													
	石綿含有住宅屋根用化粧スレート													
	石綿含有ルーフィング		※ i											
	石綿含有窯業系サイディング													
	石綿含有建材複合金属系サイディング													
	石綿含有スレート波板		※ i											
	石綿セメント管		※ iv											
	石綿セメント円筒													
	ガスケット・パッキン													

建築(昭和54年1月)

- ※1
- 石綿等の吹付け作業の原則禁止、石綿含有率5.0%超を石綿含有製品と定義
- ※2
- 石綿を特定粉塵に定義、濃度測定の義務
- ※3
- 石綿吹付け材除去作業の事前届出制実施、石綿含有率1.0%超を石綿含有製品と定義。青石綿と茶石綿の製造・輸入・譲渡・使用を禁止。
- ※4
- 白石綿の製造、使用等の禁止
- ※5
- 特定建築材料にアスベスト含有保温材、耐火被覆材、断熱材を追加
- ※6
- 石綿含有率0.1%超を石綿含有製品と定義
- ※7
- 2017年から石綿含有塗材を吹付石綿に該当すると定義(吹付工法より施工されたことが明らかな場合)
- ※A
- 吹付け石綿原則禁止
- ※B
- 石綿含有吹き付けロックウール(乾式・半乾式)使用禁止
- ※C
- 湿式石綿含有吹付け材使用禁止
- ※ i
- 戦前から生産
- ※ ii
- 1952年から生産
- ※ iii
- 1951年から生産
- ※ iv
- 製造開始年月日は不明

石綿調査表

調 査 年 月 日			調 査 者	
建 物 等 の 所 在 地	津山市勝部字鴨ヶ峪144番、157番4			
建 物 等 の 所 有 者	住所(所在地)	津山市山北520番地		
	氏名(名称)	一般財団法人 津山市都市整備公社		
建 物 等 の 番 号	6-B	建物の構造・用途・面積	鉄骨造二階建・合宿所・291.13㎡	
(1) 建物等の建築時期の調査	建物建築等時期 昭和57年1月		☐ 建物登記記録 ☐ 建築確認書 ☐ 建築請負契約書 ☐ 設計図書 ☒ その他 ()	
(2) 調査方法び仕石綿含有建材の名称	○調査方法 ・ 目視による石綿使用の有無の確認 ☐ なし ☐ あり ☒ 使用の可能性あり、または不明 ・ 設計図書等による石綿使用の有無の確認 ☐ なし ☐ あり ☐ 使用の可能性あり、または不明 ・ 施工業者等への石綿使用の有無の確認 ☐ なし ☐ あり ☐ 使用の可能性あり、または不明 ・ 建物等所有者への石綿使用の有無の確認 ☐ なし ☐ あり ☐ 使用の可能性あり、または不明 ・ その他の方法 (分析調査) での石綿使用の有無の確認 ☒ なし ☐ あり ☐ 使用の可能性あり、または不明 ○使用を確認した石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の名称 () ○調査した石綿含有成形板(仕上げ材等)の名称 () ○分析調査の有無 ☒ 分析調査する ☐ 分析調査しない (判断理由: 石綿含有成形板(レベル3)は上記調査方法による調査を実施したため)			
	(3) 分析調査			
	分析調査結果報告書による ☐ 使用されている ☒ 使用されていない			
	(4) 最終判定 (対象石綿の使用有無) ☒ 使用されている (みなし含有の場合を含む。) ☐ 使用されていない			
		判定理由: 石綿等使用期間表により「屋根スレート葺」が石綿含有の可能性があるため		
備 考				

別紙

石 綿 含 有 建 築 材 料 表

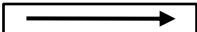
建物等の番号： 6-B

所 有 者： 一般財団法人 津山市都市整備公社

仕上材名称	形状寸法	石綿使用の判定	備考
屋根工事			
スレート葺		石綿の使用の可能性ありまたは不明	△
外装工事			
外壁ボード・吹付		石綿の使用なし	○
内装工事			
石綿分析結果より		石綿の使用なし	○

判定・・・○ 石綿の使用なし
△ 石綿の使用の可能性ありまたは不明
× 石綿の使用あり

種類別石綿等使用期間表

注)  実際に使用されていた期間  使用されていたと思われる期間

解体作業区分	種類	工法等	使用された概ねの期間												
			1955 S30	1965 S40	1970 S45	1975 S50	1980 S55	1988 S63	1990 H2	1995 H7	2004 H16	2005 H17	2006 H18		
法的							※1		※2		※3		※4	※5	※6
メーカー自主規制															
【石綿含有吹付け材】 （発じん性が著しく高い作業）	吹付け石綿														
	石綿含有吹付けロックウール	石綿30%以下													
		乾式・半乾式石綿5%以下													
	湿式石綿含有吹付け材														
	石綿含有吹付けパーミキュライト														
	石綿吹付けパーライト														
	建築用上塗り材 ※7														
【石綿含有保温材等】 （発じん性が高い作業）	石綿含有けいそう土保温材														
	石綿含有けい酸カルシウム保温材		※ i												
	石綿含有パーミキュライト保温材		※ i												
	石綿含有パーライト保温材														
	石綿保温材														
	石綿含有けい酸カルシウム材第2種														
	石綿含有耐火被覆板														
	屋根用折板石綿断熱材														
	煙突用石綿断熱材														
解体作業区分	種類	工法等	使用された概ねの期間												
			1955 S30	1965 S40	1970 S45	1975 S50	1980 S55	1988 S63	1990 H2	1995 H7	2004 H16	2005 H17	2006 H18		
法的							※1		※2		※3		※4	※5	※6
メーカー自主規制															
【石綿含有形成材】 （発じん性が比較的低い作業）	石綿含有スレートボード		※ i												
	石綿含有スラグせっこう板														
	石綿含有パルプセメント板														
	石綿含有押出成形セメント板														
	石綿含有けい酸カルシウム板第1種														
	石綿含有ロックウール吸音天井板														
	石綿含有せっこうボード														
	石綿含有パーライト板		※ ii												
	石綿含有その他ボード														
	石綿含有その他パネル														
	石綿含有壁紙														
	石綿含有ビニル床タイル		※ iii												
	石綿含有ビニル床シート		※ ii												
	石綿含有ソフト巾木														
	石綿含有住宅屋根用化粧スレート														
	石綿含有ルーフィング		※ i												
	石綿含有窯業系サイディング														
	石綿含有建材複合金属系サイディング														
	石綿含有スレート波板		※ i												
	石綿セメント管		※ iv												
	石綿セメント円筒														
	ガスケット・パッキン														

建築(昭和57年1月)

- ※1
- 石綿等の吹付け作業の原則禁止、石綿含有率5.0%超を石綿含有製品と定義
- ※2
- 石綿を特定粉塵に定義、濃度測定の義務
- ※3
- 石綿吹付け材除去作業の事前届出制実施、石綿含有率1.0%超を石綿含有製品と定義。青石綿と茶石綿の製造・輸入・譲渡・使用を禁止。
- ※4
- 白石綿の製造、使用等の禁止
- ※5
- 特定建築材料にアスベスト含有保温材、耐火被覆材、断熱材を追加
- ※6
- 石綿含有率0.1%超を石綿含有製品と定義
- ※7
- 2017年から石綿含有塗材を吹付石綿に該当すると定義(吹付工法より施工されたことが明らかな場合)
- ※A
- 吹付け石綿原則禁止
- ※B
- 石綿含有吹き付けロックウール(乾式・半乾式)使用禁止
- ※C
- 湿式石綿含有吹付け材使用禁止
- ※ i
- 戦前から生産
- ※ ii
- 1952年から生産
- ※ iii
- 1951年から生産
- ※ iv
- 製造開始年月日は不明